



げんき広場

GENKI HIROBA

No. 79
令和3年10月発行

◎編集・発行 長崎県教育庁総務課 〒850-8570 長崎市尾上町3番1号 TEL095-894-3314 (ダイヤルイン) 長崎県教育委員会 検索

「第二期長崎県特別支援教育推進基本計画」を策定しました



マスクットキャラクター「とくシカ」

「第一期長崎県特別支援教育推進基本計画」(H24年度～R3年度)での取組や成果を踏まえて、引き続き、「4つの柱」で、特別支援教育の着実な推進を図ります!



質の高い教育をみんなに

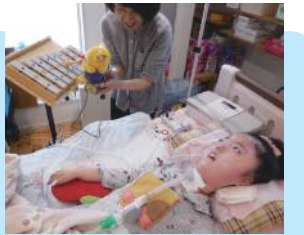


本県の障害のある子どもの教育に関する令和4年度からの概ね10年間の基本的な考えを示した「第二期長崎県特別支援教育推進基本計画」を策定しました。

障害のある子どもたちが、予測困難で変化の激しい社会において、自立や社会参加をするための資質・能力を育成する特別支援教育を進めていきます。

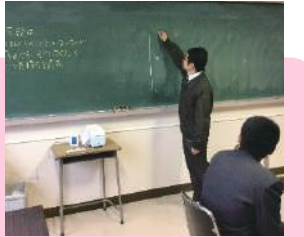
1 特別支援学校の環境整備と教育の充実

- 児童生徒数の増減や、地域のニーズを踏まえた特別支援学校の教育環境整備に、引き続き取り組みます。
- 医療的ケア児への対応をより充実させ、安心して安全な学校づくりに取り組みます。
- 一人一人の可能性や能力を引き出し、多様な進路実現を目指したキャリア教育の充実に取り組みます。



2 幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校における特別支援教育の充実

- 幼稚園から高等学校までの引継ぎをさらに充実させ、一貫した指導や支援に取り組みます。
- 校長がリーダーシップを発揮し、全教職員の共通理解のもとに幼児児童生徒一人一人に応じた指導や支援を行う体制づくりを推進します。



3 特別支援教育に携わる教職員の専門性の向上

- 全ての教職員に対して、発達障害等への知識や理解を深めるための研修を充実させます。
- 幼児児童生徒の障害種に応じた指導に係る研修に加え、ICT機器活用の充実に向けた研修に取り組みます。



4 関連する諸課題への対応

- 1人1台端末を活用し、個別最適な学びの充実や保護者との効果的な情報共有に取り組みます。
- 障害のある幼児児童生徒が生涯にわたってスポーツや芸術文化に親しむことができる機会の充実を図ります。



「第一期長崎県特別支援教育推進基本計画」における取組や成果 (H24年度～R3年度)

分校・分教室の設置等、特別支援学校の適正配置の推進

- ★小・中学部分教室の設置…2校
- ★高等部分教室の設置…5校
- ★分教室の分校化…4校など

学校看護師配置の拡充

H24年度…12人
↓
R 3年度…21人

就労率の向上

就職希望者における就労率
H22年度…62.1%
↓
R 2年度…90.7%

高等学校における「通級による指導」の開始

H30年度…3校4教室
↓
R 3年度…6校7教室

特別支援教育支援員の配置拡充

H24年度…482人
↓
R 3年度…665人



お問い合わせ：
長崎県教育庁特別支援教育課
TEL095-894-3402



第二期長崎県特別支援教育推進基本計画本文はこちらから、ご覧ください。



進めています

新たな時代を担う 高校生の力を育てるための取組

グローバル化・AIの普及・高度情報化等が進み、将来の変化を予測することが困難な現在、県では、新たな時代を担う高校生が身に付けるべき資質・能力を高めるための取組を進めています。

▶これから求められる力

文化や価値観の異なる相手とも互いの違いを認め合い、考えを分かりやすく伝え合う力等



コンピュータでは処理できない創造性や人間の感受性が問われる領域に、自ら取り組む力等



言われたことだけを言われたとおりにはやるのではなく、自ら主体的に問題を発見し、解決していく力等



これからの社会で求められます。入学試験や就職試験でもこれらの力が問われるようになります

▶どのようにして育てるか

協働的な学び・探究的な学びを通じて育成します

▶長崎県の具体的な取組は

《文部科学省指定事業》

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)

将来、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、より高度な学びを提供する仕組みを構築します。



長崎東高校

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)

先進的な科学技術、理科・数学を通して生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培います。



長崎西高校・長崎南高校・大村高校

地域との協働による高校教育改革推進

国公立大学への進学など、一人ひとりの目標に対応した進路を実現します。また、松浦市と連携して取り組んでいる地域課題解決型学習『まつナビ』を充実させ、「科学的・実践的な学び」に重点的に取り組みます。



松浦高校

「地域科学科(進化した普通科)」誕生!

《県教育委員会事業》

課題探究型学習(ふるさと教育)

地域住民や自治体、地元企業と一緒に地域活性化に取り組む等、現代の諸課題や、地域の特色に応じた取組を行っています。



すべての県立高校

1人1台端末の導入

一人ひとりのニーズや理解度に応じた個別学習や、考えを即時に共有し議論する協働学習等、様々な学びの実践が可能になります。



すべての県立高校

高校生アントレプレナーシップゼミ

大学教授や起業家、大学生との研修で、アントレプレナーシップ(起業家精神)について学び、地域課題を元にビジネスプランを作成することで主体的に活動することができる地域リーダーを育成します。



希望する高校生21名

長崎を元気にするアイデアコンテスト

SDGsに関連する長崎を元気にするアイデアを募り、オンラインによるコンテストを実施し、生徒の主体的な課題解決に向けた取組の活性化を図ります。



指定校20校

普通科高校における「県内企業説明会」

地元企業の理念やそこで働く人の思いを知ることで、自分自身の今後の生き方やキャリアについて深く見つめ直す機会にするとともに、探究型学習の深化を図ります。



普通科12校

「1人1台パソコン」の活用が始まっています!

GIGAスクール構想により
1人1台のパソコンが整備され、小中学校で本格的な活用が始まっています。

GIGAスクール構想のねらい

- ▶ 整備されたパソコンを用いて、子どもたち一人一人に寄り添った学習を展開すること。
- ▶ これからの時代に必要となる「情報活用能力※」を育成すること。

※情報活用能力とは

パソコンの基本的な操作ができることや、必要な情報を収集したり、情報を整理・分析し、自分の考えに取り入れ分かりやすく伝えたりする力のことです。

県内の小中学校では、工夫された様々な取組が展開されています。今回は2校の活用の様子を紹介します。

佐世保市立中里小学校

パソコンを操作し、デジタルドリルに取り組んでいます。自分に合った難易度を選んだり、学習時間や過去の成績などを確認したりすることができるので、やりがいをもって学習できています。



長崎市立長崎中学校

理科の授業では、実験方法を解説した動画を確認したり、パソコンで実験結果をレポートにまとめたりしています。友だちと交流しながら進められるので、様々な発見があります。



保護者のみなさまへ ~積極的にパソコンを活用するために~



パソコンを家庭に持ち帰り、家庭学習等で利用する場合がありますので、ぜひ家庭でも気をつけてお声かけください。

健康に配慮した利用について

- 目と画面の距離を30cm以上離すようにします。(目と画面の距離は長ければ長いほうが良いです。)



- 30分に1回は、20秒以上、画面から目を離し、遠くを見るなどして目を休めます。



- 部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを調整します。(画面の反射や画面への映り込みを防止するため、画面の角度も調整します。)



- 睡眠の質をよくするため、就寝1時間前からはデジタル機器の利用を控えるようにします。



<こちらから詳しい内容をご覧になれます>

端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレット (文部科学省)



インターネットの利用について

インターネットの特性を理解することが大切です。

- インターネット上の情報をそのまますべて受け入れてはいけないこと。
- 各種SNSや動画サイト、ニュースサイトの利用の仕方。
- 個人情報の取扱いや著作権など。



<こちらから詳しい内容をご覧になれます!>

情報モラルに関する指導の充実に資する<保護者向けの動画教材・スライド資料>等 (文部科学省)



お問い合わせ 長崎県教育庁義務教育課 (義務教育班) ダイヤルイン 095-894-3373

ご存知ですか?ココロねっこ運動

ココロちゃん



ココロねっこ運動は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。平成13年からスタートした運動で、あいさつ運動や地域で子どもを見守る活動など、子どもの健全育成のための取組を推進しています。今回は「長崎県こども・若者応援団表彰」と「ココロねっこ運動への登録募集」についてお知らせします。

長崎県こども・若者応援団表彰



長崎県には、子ども・若者を応援して下さる方がたくさんいます★

長崎県青少年育成県民会議では、子ども・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動において顕著な功績があった団体・個人を表彰しました。

(17個人・団体)

結婚・子育て支援部門
知事賞・中地区公民館おはなしの会「ぼかぼか」様(大村市:おはなし)
功労賞・4個人・団体

青少年健全育成・支援部門
知事賞・盛田 智之様(大村市:見守り) 磯本 博英様(平戸市:見守り)
功労賞・10個人・団体

※県HP、教育委員会Facebookなどでも詳細をご紹介させていただいております。

おかげさまで20周年 ココロねっこ運動への登録募集中!

家庭では・・・ココロねっこ10より抜粋

- 毎月第3日曜日(※標準日)は、「家庭の日」です。家族の絆を深めましょう。
- 携帯電話を持たせるときは、子どもを守るため、必ずフィルタリングをしましょう。

詳しくはコチラ▶

お問い合わせ
長崎県青少年育成県民会議
TEL:095-824-7510
長崎県こども未来課
TEL:095-895-2684



しまの「ミライ」応援事業 令和3年8月3日(火)～5日(木) を実施しました!

対馬市、杵岐市、五島市、小値賀町、新上五島町に住む小学5・6年生21名が、地域活性化に取り組む先駆者の講話や企業等での体験活動、参加者同士の意見交換等を通して、しまの魅力や課題について考え、しまやふるさと長崎県の「ミライ」を担っていく意欲を高めました。



参加児童の感想

多くの方が、それぞれの地元・ふるさとの活性化のために努力し、活動されていることに驚きました。

将来はしまの課題を解決できるようなボランティア活動に取り組んでみたいです。

意見交換会で話し合ったり、協力してポスターを作ったりして友だちが増えました。来年も参加したいです。

保護者の感想

私たちが住む「しま」の魅力や課題について話をする機会となった。これからは親子で深く考えてみたい。

体験したことを生き生きと話し、振り返りノートも作ることができ、我が子の成長を感じることができた。

充実した内容で、多くの学びと経験、友人を得ることができた。次年度も多くの子どもに参加してほしい。

様々な活動を通してしまの子どもが、しまの魅力やふるさとの未来について、議論したり、見つめ直したりする様子が随所に見られ、有意義な活動となりました。来年度も子どもにとって、さらに充実したものになるよう工夫していきたいと思ひます。



お問い合わせ
長崎県教育庁生涯学習課
TEL:095-894-3363

「アイデア缶詰ラベル絵」作品展示 ミライon図書館

日本で初めて缶詰が作られたのが長崎、日本で初めて本格的な缶詰生産が始まったのが北海道石狩市。
この缶詰発祥という共通点をきっかけに、長崎のミライon図書館と北海道の石狩市民図書館で連携企画を行いました。7月、8月に「アイデア缶詰ラベル絵」を募集し、その中で最優秀賞・優秀賞に選ばれた作品の展示を10月5日(火)から10月17日(日)に行います。

お問い合わせ先 ミライon図書館 0957-48-7700



教育だよりながさき「げんき広場」のバックナンバーはこちら→



げんき広場の誌面に関するお問い合わせ
長崎県教育庁総務課企画広報班 TEL 095-894-3314